



県中学校体育連盟功労者賞を受賞して

球磨村立球磨中学校 教諭 那須 純生

令和2年度熊本県中学校体育連盟功労賞というすばらしい賞をいただき、心から感謝申し上げます。これもひとえに熊本県教育委員会をはじめ、球磨人吉管内の教育委員会、熊本県・球磨人吉中学校体育連盟及び研究会の先輩方や関係者の皆様のおかげであると、重ねてお礼申し上げます。

昭和60年4月1日。教職員としてスタートした日です。八代市立八代養護学校（現支援学校）、の勤務。特別支援の経験の無い自分に何が出来るかとても戸惑った事を覚えています。まずは、本物を見せたい、経験させたいと、自分の特技でもある剣道を授業に取り入れて、必要な剣道具を色々なところからかき集め、授業した事もありました。また、当時の勤務校では焼き物に取り組んでいましたので、夏季休業中に1人で信楽焼の窯元に、アポ無しで飛び込んで教えて頂いたこともありました。窯元の先生に「教員をやめて陶芸家にならないか？」とお誘いの言葉を頂き、もし焼き物の道に進んで窯元になっていれば、今回の受賞は無かったと思います。今回の受賞を受け、体育教師を続けていて本当に良かったとつくづく思います。異動時に、そのまま特別支援の道を選ぶか、中学校の保健体育教師を選ぶかとても悩みましたが、「保健体育教師になって剣道を指導したい。」という志望動機が勝ちました。昭和63年4月から五木村立五木第一中学校勤務となり、野球部担当となりました。経験の無い保健体育指導と共に初めての部活指導。不安の中にスタートした事を思い出します。しかし、前任校で学んだ、きめ細かな指導が、役に立ち、生徒達の気持ちと体の成長に少しは貢献できたかなと感じました。野球部活動では、自宅に生徒を何回も合宿させ、そこから試合に行き、生徒達と共に過ごす事で、お互いの気持ちをわかり合う事が出来ました。平成3年4月に、人吉市立第二中学校に勤務となりました。当時約900名の生徒がいたので、これまた、初めての大規模校となり、複数体制で授業を行う事に、戸惑いを感じながら、共通理解・共通実践の大事さを、身をもって知る経験をさせてもらいました。部活動に剣道部もありましたが、担当者が異動になった陸上部を担当する事になりました。しかし、このことが、私の保健体育教師として大きく成長するきっかけになったのは事実です。全国中学校体育大会出場という目標を立て日々指導に当たり生徒と共に頑張り、初めての九州大会優勝・全国大会3種目出場を経験することが出来ました。当時の生徒・保護者には感謝です。人吉二中勤務4年の後、教職に就いて10年目に、剣道部を担当させて頂き男子団体が熊本県中学校体育大会優勝することも出来ました。現在、当時の生徒達が剣道の指導者になったり、警察関係や自衛隊等で活躍したりしていることは、私の自慢の一つです。その後錦町立錦中学校勤務となり、剣道部を担当でき、全中出場・九州大会優勝など数々の経験をさせて頂きました。また、熊本県中体連の剣道専門部長を11年間経験させて頂きました。平成21年度に行われた、全中熊本剣道大会の事務局長をさせて頂き全国大会の成功に貢献できたことも大きな思い出となりました。

最後になりますが、今後の熊本県中学校体育連盟・体育研究会の発展を祈念するとともに、これまでのご指導・ご鞭撻に感謝申し上げます、お礼の言葉とします。ありがとうございました。